

タイトル「2020年度 経済学部シラバス」、フォルダ「2020年度 経済学部シラバス」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	経済原論		
担当教員	大澤 健		
対象学年		クラス	E1
講義室		開講学期	
曜日・時限		単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	標準履修年次 2・3年次		
科目名(英語表記)	Principles of Economics		
授業の概要・ねらい	市場経済のメインプレイヤーは資本(=企業)であり、それが中心となって経済が動いていく。その資本とは、資本主義的生産という生産のあり方であり、それがどのような特徴を持っているのかについて順に説明することで、私たちの社会の基本的な仕組みを理解する。		
授業計画	回	内容	
	1	ガイダンス 講義の概要と進め方	
	2	1. 資本とは何かー絶対的剰余価値の生産	
	3	2. 相対的剰余価値の生産ー①相対的剰余価値の概念と発生メカニズム	
	4	2. 相対的剰余価値の生産ー②生産性の上昇と賃金、利潤関係	
	5	2. 相対的剰余価値の生産ー③資本主義とイノベーション	
	6	3. 資本の蓄積過程ー①剰余価値の資本への転化	
	7	3. 資本の蓄積過程ー②相対的過剰人口	
	8	4. 資本の循環ー①資本循環の3過程	
	9	4. 資本の循環ー②資本の回転	
	10	5. 資本主義的生産の総過程ー①商業資本	
	11	5. 資本主義的生産の総過程ー②利子生み資本と信用制度	
	12	6. 資本の運動と市場の全体像①ー資本の運動と4つの市場	
	13	6. 資本の運動と市場の全体像②ー金融市場と生産財市場	
	14	6. 資本の運動と市場の全体像③ー労働力市場と生産物市場	
	15	ふりかえり	
到達目標	「資本」(=企業)の仕組みを理解するとともに、剰余価値が生産される仕組みと、資本主義的生産がもつ基本的な特徴を理解する。また、資本の運動に組み込まれた4つの市場の働きを理解する。当たり前のように暮らしているわれわれの「社会」を体系的に理解する姿勢と、その方法について学ぶことを目標としています。		
成績評価の基準と方法	レポート20%、定期試験80%		
教科書	柴田信也編著『政治経済学の再生』創風社 2011		
参考書・参考文献	講義中に適宜指示する。		
履修上の注意・メッセージ	普段から新聞、テレビ、インターネットなどを通じて経済に親しむようにしてください。		
履修する上で必要な事項	履修にあたっては、講義中にしっかりノートを作成するつもりで臨んでください。		
受講を推奨する関連科目	社会経済学入門、市場経済論		
授業時間外学修についての指示	レポート課題を課すので、時間外に作成のこと。		
授業理解を深める方法	講義中に数回に一度練習問題を行います。それを通じて、講義の内容について主体的に考えるとともに、その課題を用いたコミュニケーション演習を行います。		
その他連絡事項	なし		
オフィスアワー	火曜日14:50~16:20		
科目ナンバリング	E238002PJ,E238002SJ		